

水害リスクマップの公表について

令和5年3月27日

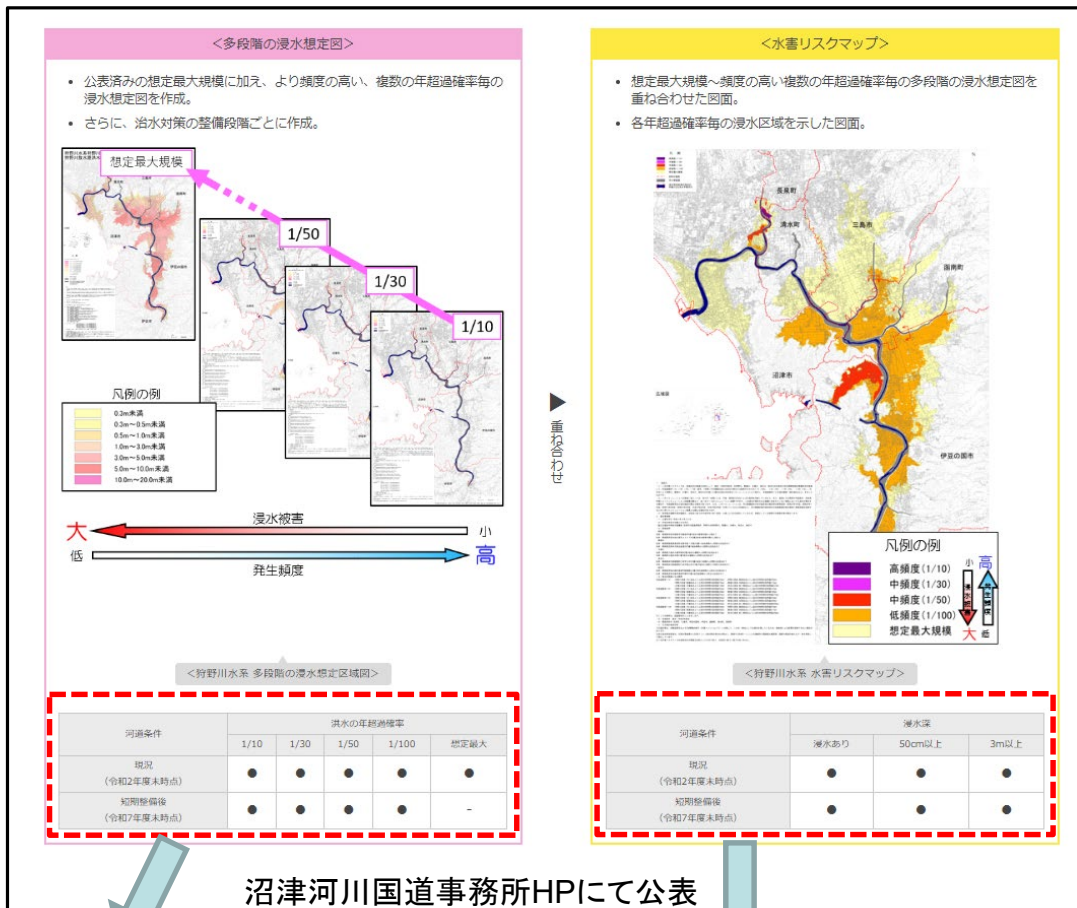
令和4年度 第2回狩野川流域治水協議会

○国や都道府県では、これまで、水防法に基づき住民等の迅速かつ円滑な避難に資する水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「洪水浸水想定区域図」を作成し公表してきました。

○国土交通省では、これに加えて、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成しました。

○令和4年9月に、河道条件を「現況」と「短期整備後」を公表しました。今回、「中期」、「中長期」を追加で公表します。

○なお、現在の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップは、国管理河川の氾濫のみを示しております。内外水一体の氾濫については、今後公表していく予定です。



多段階の浸水想定区域図

河道条件	洪水の年超過確率				
	1/10	1/30	1/50	1/100	想定最大
現況 (令和2年度末時点)	公表済				
短期整備後 (令和7年度末時点)	-				
中期整備後 (令和12年度末時点)	今回追加で公表				
中長期整備 (令和16年度末時点)	-				

水害リスクマップ

河道条件	浸水深		
	浸水あり	50cm以上	3m以上
現況 (令和2年度末時点)	公表済		
短期整備後 (令和7年度末時点)	-		
中期整備後 (令和12年度末時点)	今回追加で公表		
中長期整備 (令和16年度末時点)	-		